

第8期事業計画（R3～R5）目標設定と評価について（中間評価）

平成29年の介護保険法改正により、自立支援や重度化防止の取組についての目標、介護給付費等に要する費用の適正化に関する取組についての目標を設定し、それらの目標に対する評価を行うことで保険者機能強化を図ることとされています。計画の進行管理は、津山市高齢者保健福祉・介護保険事業運営協議会で実施し、設定した目標の達成状況についての評価及び各種課題の検討を行うものとします。

●自立支援、重度化防止等に資する施策の推進

※印は、各年度内目標値

指標	R1 現状	R5 目標値	R3 実績値	中間評価 1：完了 2：順調 3：遅延 4：要調整 5：未実施	取組状況
地域ケア個別会議開催回数（回）	※49	※50	46	2	週1回の開催を定例化することができた。対象者160人。
小地域ケア会議設置数（箇所）	29	44	34	3	コロナ禍のため、地域活動の自粛が余儀なくされたが、特定の地域へ重点的に働きかけを行ったことや、職員研修により支援者側の質向上に努めたことで、小地域ケア会議が2箇所立ち上がった。
医療・介護連携研修会開催回数（回）	※4	※4	4	2	市民が、住み慣れた地域でその人らしい生活が人生の最期まで続けることができるよう、医療と介護が切れ目なく提供される体制を整備していくために、関係職種の連携、質の向上に係る研修会を開催した。また、毎年開催している市民フォーラムは新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため延期とした。 医療・介護連携研修会：4回開催。 市民フォーラム：延期
生活支援サポーター養成講座受講人数（人）	※46	※80	0	4	生活支援サポーター養成講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施を控えたが、生活支援コーディネーターと協力して一部圏域のサポーターに対してフォローアップ研修及び情報交換会を実施した。 令和4年度からは、生活支援サポーター訪問サービス各実施団体で養成講座を実施予定。

こけないからだ講座 設置数（箇所）	216	227	215	3	新設は新型コロナウイルス感染症の影響により働きかけができず、2箇所にとどまったく。参加者の減少などにより3箇所が廃止したことで、個所数は1箇所減となった。
ふらっとカフェ 設置数（箇所）	28	80	28	3	新設は新型コロナウイルス感染症の影響により働きかけができず、1箇所にとどまったく。参加者の減少により1箇所が廃止したため、個所数に増減なし。
認知症カフェ 設置数（箇所）	5	6	4	3	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動継続が困難となり、1カ所が活動休止となっている。今年度はコロナ禍での活動に対して課題をアンケートで把握し、カフェの活動を維持していくける支援を中心として行った。
認知症センター 養成講座受講人数 (人)	※ 1,328	※ 1,000	702	2	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、規模を縮小して実施したが、企業、学校など幅広い市民を対象とした養成講座を開催し、認知症への理解の普及、ネットワークの拡大を図った。 開催：26回
認知症センター ステップアップ講座 受講人数（人）	0	100	15	2	チームオレンジの立ち上げに向け、認知症センター養成講座受講者の中で、特に取り組みへの関心が高い方を集めて1クール（3回の講座）開催した。想定では広く周知を行いたかったが、感染状況を鑑み、今年度は規模を縮小して養成を行った。

●介護保険運営の安定化に資する施策の推進

※印は、各年度内目標値

指 標	R1 現状	R5 目標値	R3 実績値	中間 評価 1：完了 2：順調 3：遅延 4：要調整 5：未実施	取組状況
要介護認定に係る調査票点検実施率 (%)	※100	※100	100	2	保健師 4 人で毎月約 450 件の認定調査票をチェックし、認定調査の平準化、スムーズな介護認定審査会運営に努めている。令和 4 年度 5,015 件。
調査員・認定審査会研修実施回数 (回)	※6	※5	8	2	調査委員研修は、県が実施する新任研修のほか、津山市直営調査員研修会を 6 回実施し、認定調査の平準化に努めた。 審査委員研修では、県が実施する新任研修・現任研修のほか、審査会委員全体研修会及び 8 合議体ごとに 1 回の研修会を開催し、介護認定審査会の平準化に努めた。
ケアプラン点検実施件数 (件)	※526	※600	834	2	県が実施する介護給付適正化研修に準じて、ケアプラン質の向上研修会を実施し、自立支援、QOL に着目した指導を行った。(68 名が参加)。居宅介護支援事業所及び包括支援センターのケアプラン 1,068 件を点検した。令和 4 年 2 月居宅介護（介護予防）サービス受給者 4,132 件中、実施率 25.8%。 また、アドバイザー派遣事業によるプランチェックを予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止となった。
住宅改修の着工前点検実施率 (%)	※100	※100	100	2	全件、ケアマネジャーと施工業者と事前協議を行い、897 件の改修支援を行った。不明な点があれば隨時、作業療法士が現地調査を行い、効果的な改修に努めた。
介護給付費通知実施率 (%)	※100	※100	100	2	介護保険施設、全サービス利用者に対し、7 月・11 月・3 月の年 3 回、利用状況を通知し、サービス利用の確認を促すことにより適正化を図った。